

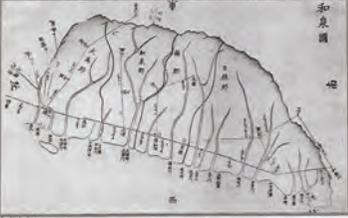
## 第2部門A 郵便史・日本

### 和泉国の郵便印（不統一印～二重丸印） ただ ゆういち 多田 由一（大阪府）④

この作品は和泉国（大阪府南部地域）の不統一印から二重丸印までの使用例をエンタイヤとはがきで展示するものです。明治4年12月25日に大阪から和歌山への郵便線路が開かれ明治21年8月末日までに開廃局を含め20局が設置された。1961年に発刊された「摂河泉の郵便印」に記載のない印で新たに確認されたものは不統一印1点と二重丸印5点のみである。この作品で展示できなかった物は僅か半年しか使用しなかった深日（ふけ）局のKG印と不統一印のみである。4Fでの作品で見所は堺局での和桜1銭19版3枚貼、貝塚局の竜200文白抜貝塚消エラー印で有名な「貝塚検査記」等です。未発見の不統一印が多く単調な作品ですが大阪を知って頂くと共に日本郵楽会のPRになればと願っています。

**和泉国の郵便印（不統一印～二重丸印）**

- 和泉国の位置**  
和泉国は、大阪府の南部に位置し北部は、大和川で大阪府と接し東部は、河内国と南部は、和歌山県と西部は大和国に囲まれた南北に細長い地形である。
- 開廃局の概要**  
和泉国では、大阪と和歌山を結ぶ紀州街道沿いに郵便線路が設けられ明治4年12月25日、最初の郵便取扱所が堺から尾崎まで6箇所設置された。その後7年10月に1箇所、9年5月に7箇所、15年の際に5箇所設置され合計19箇所となった。その開廃止となった局数は、4局で最短期間は、深日局の1年弱である。
- 使用された郵便印の種類**  
9年5月までに開局された14局で不統一印が使用されたと思われるが9年5月開局の7局の内では、2箇所しか確認されていない。記号印は「ツ」が固番号として付与され1字の帯から6字の尾崎まですべて確認されている。二重丸印は、KG印とKB印も使用されていない。
- 展示の範囲**  
この作品では、不統一印から二重丸印までを対象とし北部から南部へとエンタイヤと消書で個別、局別に捺清印、証示印、箱場印、始末印等の事故印を展示した。
- 和泉国の郵便線路（明治15年）**



6. 参考文献  
『摂河泉の郵便印』（日本郵楽会）、郵便線路図、『郵便須知百科事典』（鴻鳥）、『明治郵便局名録』（鴻鳥）、「大阪府史」、「和泉県史」、「和泉地区通町郵便」

和泉国 大島郡 堺 現 大阪府堺市

不統一印(櫻桃)局所印(和泉国堺郵便取扱所)

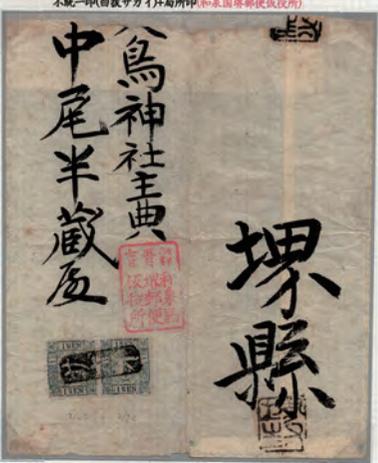


和桜1銭19版 3枚ストリップ (市外2銭+増徴1銭)

展出 堺 明治7年1月26日 到着 ©製不統一印 古市河内・明治7年1月28日・郵便取扱所  
不統一印櫻桃は6年6月より7年3月まで、桜花印は6年5月より7年4月まで使用

和泉国 大島郡 堺 現 大阪府堺市

不統一印(白抜サカイ)局所印(和泉国堺郵便取扱所)



和桜1銭ベア貼

展出 堺 明治6年5月7日一管内大島村宛不課料金 (1銭+1刷)  
白抜サカイと取扱所印の組合せは本刷のみ、白抜サカイの最新使用例

和泉国 日根郡 信達 現 大阪府日根市

期日 明治4年12月20日

箱場印櫻桃 ○改



編刷し二つ折り1銭12がき (0)

展出 堺丹波橋一柱通 信達地堂十郵便加増長送取扱所  
到着 大阪 明治7年4月30日 午前使